【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和2年7月2日(2020.7.2)

【公表番号】特表2019-519156(P2019-519156A)
【公表日】令和1年7月4日(2019.7.4)
【年通号数】公開・登録公報2019-026
【出願番号】特願2018-562044(P2018-562044)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｑ　23/00　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　 7/20　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　23/36　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　23/40　(2006.01)
Ｈ０１Ｑ　21/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｑ　23/00
Ｈ０５Ｋ　 7/20　Ｄ
Ｈ０１Ｌ　23/36　Ｚ
Ｈ０１Ｌ　23/40　Ｆ
Ｈ０１Ｑ　21/06

【手続補正書】
【提出日】令和2年5月15日(2020.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置であって、
基板と、
前記基板に取り付けられる少なくとも１つの集積回路と、
前記少なくとも１つの集積回路に取り付けられるアンテナと、
誘電材料でつくられて前記アンテナに取り付けられる第１の放熱器と、
を含む、装置。
【請求項２】
請求項１に記載の装置であって、
前記基板に取り付けられる第２の放熱器を更に含む、装置。
【請求項３】
請求項１に記載の装置であって、
前記基板に取り付けられる少なくとも１つの電気部品を更に含む、装置。
【請求項４】
請求項１に記載の装置であって、
前記第１の放熱器が熱導電性エポキシを用いて前記アンテナに取り付けられる、装置。
【請求項５】
請求項１に記載の装置であって、
前記第１の放熱器が並行板放熱器である、装置。
【請求項６】
請求項１に記載の装置であって、

前記第１の放熱器が平坦板放熱器である、装置。
【請求項７】
請求項１に記載の装置であって、
前記第１の放熱器が並行支柱放熱器である。装置。
【請求項８】
請求項１に記載の装置であって、
前記誘電材料が、窒化アルミニウムと酸化ベリリウムと酸化アルミニウムと炭化シリコンと窒化ボロンの１つである、装置。
【請求項９】
請求項１に記載の装置であって、
前記少なくとも１つの集積回路が無線周波数チップとベースバンドチップとの１つである、装置。
【請求項１０】
請求項２に記載の装置であって、
前記第２の放熱器が、並行板放熱器と平坦板放熱器と並行支柱放熱器の１つである、装置。
【請求項１１】
請求項２に記載の装置であって、
前記第２の放熱器が誘電材料でつくられる、装置。
【請求項１２】
装置であって、
基板と、
前記基板に取り付けられる少なくとも１つの集積回路と、
前記少なくとも１つの集積回路に取り付けられるアンテナ構造であって、アンテナと、誘電材料でつくられて前記アンテナに取り付けられる第１の放熱器とを含む、前記アンテナ構造と、
を含む、装置。
【請求項１３】
請求項１２に記載の装置であって、
前記基板に取り付けられる第２の放熱器を更に含む、装置。
【請求項１４】
請求項１２に記載の装置であって、
前記基板に取り付けられる少なくとも１つの電気部品を更に含む、装置。
【請求項１５】
請求項１２に記載の装置であって、
前記誘電材料が、窒化アルミニウムと酸化ベリリウムと酸化アルミニウムと炭化シリコンと窒化ボロンの１つである、装置。
【請求項１６】
請求項１２に記載の装置であって、
前記アンテナがアンテナのアレイである、装置。